

多趣多様

週末、角田市の阿武隈川左岸にある角田滑空場をベースに飛行を楽しんでいる。草地に延びた400坪の舗装滑走路のすぐそばに、
.....
仙台グライダークラブのメンバーは、年代も職種もさまざま。「飛び」を共通項にした仲間との交流も大きな楽しみだ



上昇気流に乗って静かに空を滑るグライダー。単発飛行機に違い航された機体は、高度約6000と飛んでいられる。ほどでけん引ロープを外すよ」と、仙台グライダークラブの伊藤友貴さん(60)岩沼市が教えてくれた。クラブのメンバーは毎

で、離陸の様子を見た。クラブ理事長の太友宏之さん(64)角田市が笑った。「バイクやスキーより安全。だって転ばないでしょ。空気に支えられてるんだから」
角田は、気象の条件がとて面白いのだという。田市は昨年、一度の飛行で5000m以上を飛ぶ、ダイアモンド距離章という国際記章を獲得した。「動力に頼らず、上昇気流だけで飛ぶというところが面白い。自分の

グライダー

風と仲良く大空遊泳

飛行するために、家用操縦士技能証明滑空機上級という国家資格が必要。だが、航空身体検査を受ければ申請できる練習許可証を取得すると、有資格者の指導の下で操縦することができる。

グライダーで本格的に飛行するためには、家用操縦士技能証明滑空機上級という国家資格が必要。だが、航空身体検査を受ければ申請できる練習許可証を取得すると、有資格者の指導の下で操縦することができる。

操縦感覚体で覚えて



「操縦感覚をいかに磨くか。自転車と同じですよ」。頭でなく、体で覚えることが上達のこつ、と太友さんは言う。
操縦は、スティック状の操縦かんと左右のペダルで行う。スティックを前後に倒すと水平尾翼のエレベーターが動き、上昇下降。左右に倒すと主翼のエロンで機体の傾きを調整する。ペダルは垂直尾翼のラダーと直結しており方向を決める。

「操縦感覚をいかに磨くか。自転車と同じですよ」。頭でなく、体で覚えることが上達のこつ、と太友さんは言う。
操縦は、スティック状の操縦かんと左右のペダルで行う。スティックを前後に倒すと水平尾翼のエレベーターが動き、上昇下降。左右に倒すと主翼のエロンで機体の傾きを調整する。ペダルは垂直尾翼のラダーと直結しており方向を決める。



えい航用の動力飛行機が耐空検査中のため、この日は動力の付いたモーターグライダーで練習